

「シロユタカ」より多収で、つる割病に強いでん粉原料用新品種

「こないしん」の特性・栽培手引き



「こないしん」の塊根と地上部

こないしんの品種特性

- ◆ いもの形状は楕円形で、皮色は茶橙、肉色は黄白です。
- ◆ 葉の形状は心臓形で、葉の裏の葉脈には、紫色の着色はありません。
- ◆ マルチ栽培、無マルチ栽培ともに「シロユタカ」より多収です。
- ◆ でん粉白度は「シロユタカ」並に優れます。
- ◆ 「シロユタカ」よりもつる割病に強いです。
- ◆ 線虫に強く、立枯病には中程度の抵抗性があります。

収量性

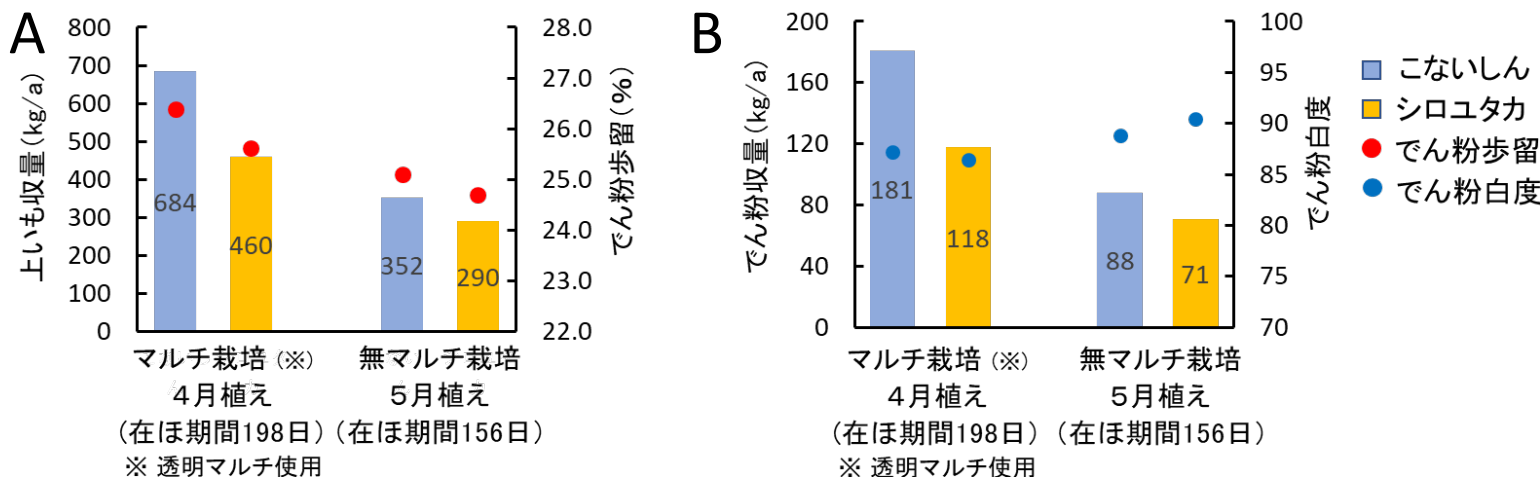


図 上いも収量とでん粉歩留(A)、でん粉収量とでん粉白度(B)
(九州沖縄農研都城 平成26年～30年の5か年平均) 注)上いもは50g以上のいも

病虫害抵抗性

表 病虫害抵抗性検定試験結果

品種名	病虫害抵抗性						
	ネコブセンチュウレース ¹⁾ SP1	SP2	SP4	ネグサレセンチュウ	つる割病	立枯病	黒斑病
こないしん	強	強	強	やや強	やや強	中	やや弱
シロユタカ	強	やや弱	やや強	やや強	(中～やや弱) ²⁾	— ³⁾	—
コガネセンガン	やや弱	やや弱	弱	やや弱	—	—	弱

1) ネコブセンチュウにはサツマイモ品種に対する寄生性の違いからレースが存在し、熊本県ではレースSP1、鹿児島県と宮崎県ではSP2が優占し、沖縄県と種子島にはSP4が広く分布している。

2) 病虫害抵抗性検定において試験年次が異なるものは括弧内に示した。 3) —は未判定であることを示す。

こないしんの栽培技術

● 作型

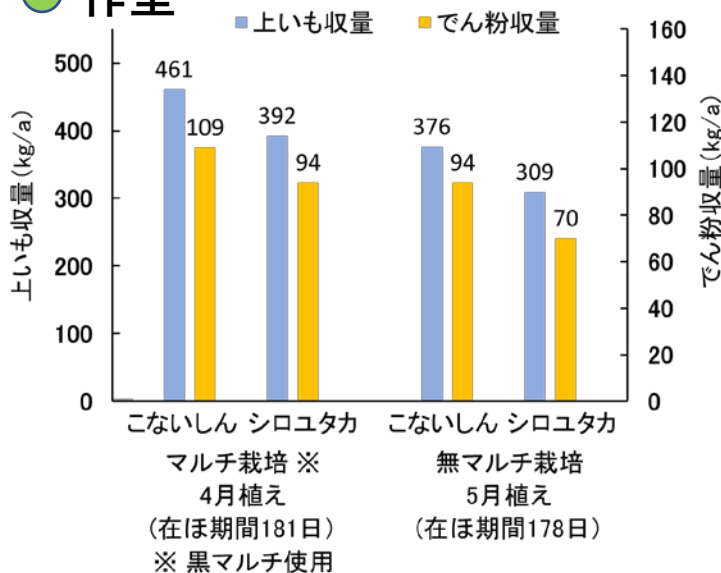


図 作型と上いも収量の関係
(鹿児島農総セ大隅 平成27~30年の4カ年平均)

マルチ栽培、無マルチ栽培ともに、「こないしん」は「シロユタカ」より多収です。

● 在ほ期間

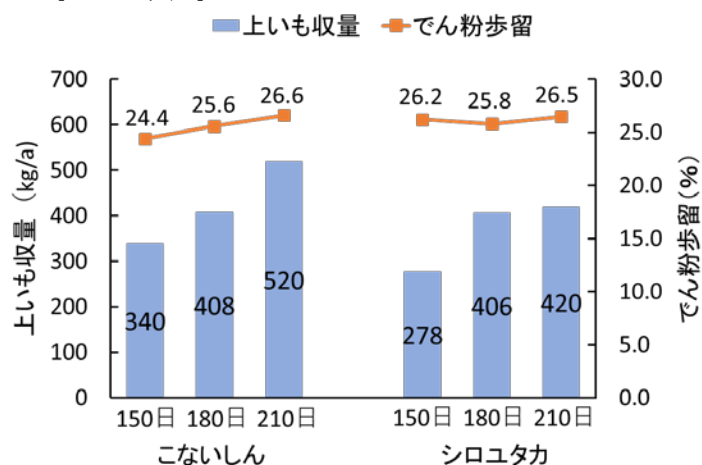


図 在ほ期間と上いも収量及びでん粉歩留との関係
(鹿児島農総セ大隅 平成30年、4月植え黒マルチ栽培)

150日から210日の在ほ期間では、在ほ期間が長くなるほど、「こないしん」の上いも収量及びでん粉歩留は増加します。一方、「シロユタカ」は上いも収量は増加しますが、でん粉歩留はあまり変わりません。

● 窒素施肥量

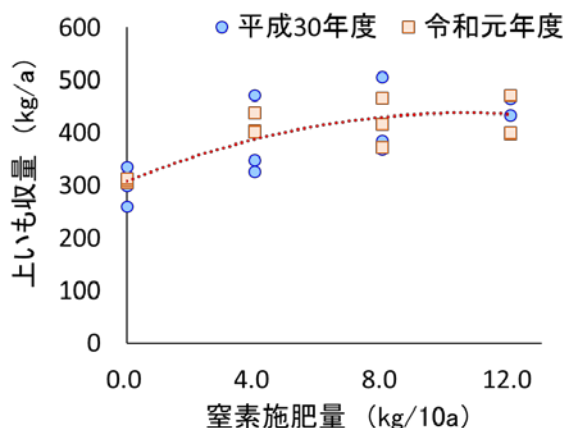


図 窒素施肥量と上いも収量の関係(鹿児島農総セ大隅)

「こないしん」は窒素施肥量が多いほど上いも収量が増加しますが、8kg/10aを超えると増収効果が小さくなるため、8kg/10a程度が適当です。

● 植付方法

表 植付方法による収量の違い(鹿児島農総セ大隅 平成30年)

品種名	植付方法	上いも収量		1株あたり上いも数 (個/株)	上いも一個重 (g)
		(kg/a)	標準比		
こないしん	斜め植え(標準)	408	100	5.4	272
	垂直植え	369	90	4.9	272
シロユタカ	斜め植え(標準)	324	100	3.8	306
	垂直植え	309	95	3.8	293

注)斜め植えが標準的な植付方法

「こないしん」の1株あたり上いも数は「シロユタカ」よりも多い傾向があります。斜め植えにより、着生いも数が増えるため、増収効果が期待出来ます。

栽培上の留意点

- 育苗時の苗床での萌芽数は7.3本/株と「シロユタカ」の15.6本/株よりも少ないので、種いもの伏せ込み間隔を狭くし(20~25cm)、伏せ込み数を増やすなどして、苗の確保に努めましょう。
- 黒斑病にやや弱いため、種いも消毒や苗消毒、キュアリング処理を行うなどの対策を行いましょう。
- しよ梗が強いため収穫時にいもが離れ難く、また、いものしっぽ(尾部)も手でちぎりにくい特性があります。

(品種特性・利用許諾に関するお問い合わせ先)



農研機構九州沖縄農業研究センター 研究推進室
〒861-1192 熊本県合志市須屋2421
TEL:096-242-7530 FAX:096-242-7543
E-mail: q_info@ml.affrc.go.jp
HP: www.naro.affrc.go.jp/laboratory/karc/index.html

(栽培特性に関するお問い合わせ先)



鹿児島県農業開発総合センター 大隅支場
〒893-1601 鹿児島県鹿屋市串良町細山田4938
TEL:0994-62-2001(代表)
FAX:0994-62-2973